



つくる、つくろう通信

陣内やすこ

八王子市議会議員・無所属市民派
少子・高齢化特別委員会委員長



北野台在住

編集／発行：市民自治の会(陣内やすこ)

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://jinnai.ne.jp/>



第2回定例議会（6月議会）をおえて――



6月議会が終わりました。

第2回定例議会は、予算成立後すぐの議会なので、補正議案等も少ないのですが、学園都市ふれあい財団や(財)八王子市住宅・都市整備公社などの決算・予算報告があります。

私は、毎年、(財)八王子市住宅・都市整備公社のセンチ富士森（高齢者向け賃貸住宅）のより有効的な活用について、提案してきているのですが、なかなか進みません。

ここは、高齢者向け賃貸住宅となっているのですが、介護等が必要になったときには、なかなか住み続けられない、という課題を抱えています。高専賃と小規模多機能型施設のセットで、ここを終の棲家にできるよう、これからも働きかけていきます。

モデル住宅として取り組むことで、八王子市の高齢者の住宅問題に関するひとつの提案となると考えますし、それができるのが、第3セクターとしてのフットワークの軽さではないでしょうか。

榎原斎場については、利用があまり進んでいません。

この施設は、黒須市長が理事長である(財)八王子市住宅・都市整備公社が寄付行為をかえてまで事業実施をはかり、建設業者は市長の親族会社ともう一社のJVです。落札率は90.48%でした。ニーズ把握、費用対効果の十分な検証がないまま、大きな規模のものをつくった、ともいえるのではないのでしょうか。

国が飛行場、あるいは道路建設のときにおこなう需要調査がかなり甘いものであったということが、政権交代の中で、明らかになってきています。八王子においても、事業実施に向けての予測調査、計画の緻密さがよりいっそう求められています。その意味で、住宅・都市整備公社が進めようとしている、川口地区物流拠点整備について、再考が必要です。

(陣内は推進に反対です)

榎原斎場 利用状況

- 2008年（決算）
利用可能の37%
- 2009年（決算）
利用可能の36%
- 2010年（予算）
利用可能の45%

*これで事業といえるのかしら？

こんな議論もありました

墓地はもう要らない!?

野猿峠付近の墓地開発反対請願が採択されたのが3月議会においてでした。

しかし、相変わらず八王子は墓地開発に狙われている!?

八王子市内にある空き墓地は18000基。年間需要件数は、1100件あまりということです。ということは、10年以上も墓地を作らなくても、ニーズの対応には十分ということではないでしょうか。



自治体議会改革フォーラム

議会改革のススメ

■議会基本条例等検討委員会がスタート

議会の存続が問われています。議会って何をしているところ？という市民の素朴な疑問にきちんと向き合うためにも、開かれた議会、市民が参加できる議会が求められています。

各会派から12名の議員で構成されている検討委員会です。私、陣内も委員として参画しています。来年2月をめどに、報告書を議長に提出する予定です。実のある議論をしていきたいものです。あわせて、自治基本条例設置の声を大きくしていきましょう。

自治基本条例設置自治体 185自治体（2010年1月7日調べ）
議会基本条例設置自治体 73議会（2009年10月20日調べ）

市民活動の 充実に向けて



一般質問より

市民活動推進部、市民活動推進センターができて7年。八王子市の市民活動がどうひろがってきているのか。また、課題は何か。そして、それらの解決に向けての方策を質問しました。



：「あたらしい公共」、つまり国と企業とコミュニティの新しい関係が模索されている。八王子市での市民活動、NPOの現状、課題、そして今後の展望を伺い、非政府で、非営利で、しかし公共的な事業をおこなう市民セクターをどう大きくしていくのかを考えていきたい。課題は何か？

市民活動推進部長：NPOなどの団体は、各分野におきまして高い理念を掲げ、専門分野に強みを発揮するところですが、一方で、多くの団体がいわゆる「ヒト・モノ・カネ」といわれる経営資源が脆弱で、安定的で継続性のある事業運営に苦勞している。こうした点をいかにサポートしていくかがこれからの課題。



：資金の調達として、寄付制度の改革が動き始めている。八王子市の寄付制度の現状はどうなっているのか。また、市川市が実施している1%支援制度（税金の1%を市民活動やNPOに指定寄付できる制度）のような制度の導入についての考えはあるのか。

市民活動推進部長：NPO団体等と社会貢献活動をおこなう企業とをつなぐ仕組みとして「ゆめお

りファンド」を検討している。備品の提供など、一部試行的に運用を開始している。協力企業の掘り起こし、市民団体の登録認証手続きなどを進めている。今後は、人材や資金面も含めた総合的なファンド制度の構築を目指している。

1%支援制度については、市民企画事業補助金制度が同じ様な狙いを持つ仕組みであるといえる。ゆめおりファンドなどとあわせて総合的に支援体制を研究していく。

センターを中心に、団体の紹介やNPO法人化支援など、市民活動支援が積極的に進められてきているが、人口規模からいって、もっと裾野が広がってしかるべき。そのためにも、場所の拡張、資金支援の増額、人材育成のノウハウなどが、さらに充実することが必要だ。

ゆめおりファンドに期待するとともに、公共の一部を担っている団体のノウハウの蓄積、働き続けられる賃金の保障、研修制度などで、積極的に人材育成・人材の広がりや応援してほしいものである。

・予算から見ると…

市民企画事業	1066万円
市民活動支援センター管理運営	1487万円

・事業から見ると…

はちおうじ志民塾運営	539万円
団塊世代デスク	42万円

・市民活動の実態

NPO団体	207団体
	(2011年度末)
認証NPO	1団体

・行政との関係指定管理の

受託割合
2006年5団体 (13%)
→2010年15団体 (24%)

議会改革のススメ

■議会中継のあり方検討委員会

多くの自治体で、議会のインターネット中継が実施されています。

八王子市議会としても、開かれた議会をめざし、インターネット中継の導入にむけて検討会を設置し、このたび、答申がまとまりました。

来年6月からの実施をめざしています。

どの部分の中継をするかなど、細かいことをこれからつめていきます。もちろん、テレメディア中継の存続も求めています。

多くの市民の方々が、議会中継にアクセスでき、より多くの市民の声が議会や行政を動かしていけるようにしたいものです。



■議員活動時間調査に参加、結果が出ました。

東京財団の呼びかけで、議員時間調査に参加しました。これは、議員はどんなことをやっているのか、時間で調べてみようというものです。

議員活動の実態は、市民からほとんど見えず、報酬や議員定数の問題などの議論をするための共通の土台がないことから、共通の土台づくりの提供として調査がおこなわれました。(27市区町村 29名の市区町村議員)

公式：本会議、委員会議会の役職、議会主催行事出席

準公式：議会での質問調査・執筆、住民相談、市主催行事参加

非公式：上記以外（政党活動、選挙応援、兼業、大学院通学等）

寄付制度について

寄付控除制度（認証NPOへの寄付の場合）

10万円寄付をした場合

10万円－5000円＝95000円

95000×6%（0.06）＝5700円（市民税分）

95000×4%（0.04）＝3800円（都民税分）

それぞれが、税額から控除される制度

*つまり、住民税が年間30万円とすると、10万円寄付によって税額が20万5000円になるということです。

問題点

認定NPOに限定
5000円分の控除がない

検討課題

認定NPOの認定緩和
5000円→2000円への変更

Q こんなことも質問しました A

■ 介護保険制度10年、自治体の役割は何か？

介護保険サービスが使えない、という声をよく聞きます。使える介護保険にするために、自治体として何をしなければならないのかを、問いました。

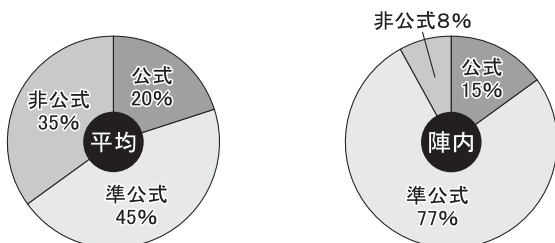
介護事業計画を立てる、というのが、大きな自治体の役割ですが、果たして、適切なニーズ把握に基づいておこなわれているのでしょうか。包括支援センターが地域の高齢者の総合的相談窓口、地域ネットワークづくりの拠点であるとはいえ、場所もよく知られていない。対象高齢者人口が多すぎて、忙しすぎる。ケアマネージャの質がさまざま。ケアプランの評価をどこもおこなっていないなどなど、具体的に介護を必要とする高齢者がどういった暮らしをしているのかが、十分把握されているとはいえないのが現状ではないでしょうか。

市は、包括支援センターのバックアップをおこなうというが、リハビリの必要な要介護者の暮らし像ひとつとっても、地域によって、また、使える社会資源によって異なり、事業者まかせでは解決できない問題が山積しています。

調査結果（報告書より）

議員・市民が何を持って「議員の活動」とするのか、「議会としての活動」とするのか、明確な定義が必要。
→議員活動の情報公開が必要

〈データでみると〉



■ 2020年までに30%

あらゆる分野において、指導的地位に占める女性の割合を少なくとも、2020年までに30%にするという政府目標にたいし、八王子の場合、わずか女性管理職は8%。女性部長は2名だけです。具体的な戦略を聞いたのですが、着実に増えてきているというだけで、より積極的な取り組みをおこなう考えがないというものでした。

あーあ、これでは、何年たっても、変わらないぞ。

■ ひとり親家庭への支援策の充実

ひとり親家庭の貧困率は54%と飛びぬけて高い。中でも、母子家庭においては、それ以上。二重、三重の支援が必要であることから、みなし寡婦控除の導入や求職中の保育料減免などをもとめました。しかし、八王子市の保育料は、総じて低いことを理由に、特段の措置の検討はしないというものでした。自立支援員による相談は増えてきているとはいえ、「貧困」問題、特に子どもの「貧困」からの脱却を、積極的にサポートすることが求められています。

花の谷クリニック訪問記

ここでは、緩和ケアと医療的ケアの必要なかたのデイサービス、ならびに障害のあるかたのショートステイ、訪問診療、訪問介護やデイケアなどの介護事業もやっているところです。

とても静かな環境で、認知症の方も静かな生活ゆえか、それほど大きな問題もなく、ココでの生活をゆったりとすごされるとのこと。すぐ近くに外房の海鳴りが聞こえます。

木でできている入院病棟は、とても病院とは思えない環境です。中庭の木々が部屋から眺められ、あかりも自然光が充分入る設計となっています。

伊藤院長がなぜ、デイサービスや障害者のショートステイを始めたかというならば、それが求められていたから。

そして、必要なニーズを満たそうと思うと、さまざまな法律が壁となっていることに気づきます。

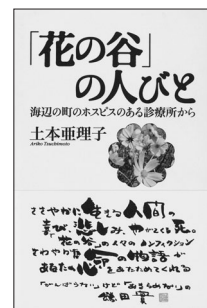
それらを一つ一つ行政と交渉しながら、イマの花の谷クリニックが出来上がってきたとのこと。

在宅医療に取り組みたいという医師はそれなりにいる。しかし、おおくの犠牲を払わなければならない今の仕組みを変えなければならない。

まさにその通りです。

志のある人が必死にならないとできない仕組み。それでは広がっていきません。

改めて政治の果たす役割が試されているという想いです。



『花の谷の人びと』（CBR出版 土本亜理子著）ぜひお読み下さい。

陣内やすこの活動日誌

- 4月1日 お花見
- 3日 看護学校入学式
八王子の医療、どうなる？(講師：山田 真さん)
- 5日 手をつなぐ女性の会 運営委員会
- 6日 高嶺小学校入学式
- 7日 中山中学校入学式
- 10日 電磁波問題を考えるシンポジウム
- 11日 中山の里山を愛する会 活動日
- 15日 三多摩議員ネット 例会
- 16日 なんでも相談
- 17日 八王子市民政策研究会 (PFIについて)
- 18日 東京土建総会
「貧乏でも安心」シンポジウム
- 19日 高齢者プロジェクト
- 21日-22日 八王子市議団研修・総会
- 23日 八王子まつり総会
映画「外泊」上例会
- 25日 「なくそう、子どもの貧困」シンポジウム
NO BASE OKINAWA キャンドルの集い
- 26日 カフェ・ミーティング 電話相談
- 28日 全国フェミニスト議員連盟 世話人会
八障連と議員との懇談会
- 5月3日 憲法記念日 日比谷公園デモ
- 8日 福島瑞穂を応援する会
- 9日 中山の里山を愛する会 活動日
みどり三多摩 例会
- 10日 電話相談 インターネット検討会
- 11日-13日 厚生委員会視察
- 14日 パステル 運営委員会
携帯中継基地局設置現場視察
- 15日 市民活動協議会総会
- 16日 カフェ・ミーティング
電磁波問題勉強会
- 17日-19日 議会運営委員会視察
- 20日 映画「いのちの山河」上映会
- 21日 なんでも相談
- 23日 全国フェミニスト議員連盟 総会
- 26日 代表者会議
船橋リハビリセンター視察
- 27日 厚生委員会
議会基本条例検討会
- 28日 みどりのシンポジウム (新しい公共について)
- 29日 みどりのシンポジウム (ベーシックインカムについて)
- 6月3日 家庭菜園研究会 総会
- 4日 市長への提言書提出
第2回定例議会招集告示日
- 6日 環境フェスティバル
- 7日 全国フェミニスト議員連盟世話人会
- 8日 議会運営委員会
- 11日 一般質問
- 13日 中山の里山を愛する会 総会
- 14日 一般質問
- 15日 一般質問 (*傍聴 ありがとうございました)
- 16日 一般質問
自治研センター市民講座
本会議 会派代表者会議
- 18日 厚生委員会
- 19日 八王子手をつなぐ女性の会 総会
八王子市民政策研究会
- 20日 町内清掃
- 21日 文教経済委員会・都市環境委員会
議会基本条例検討会
- 22日 少子・高齢化特別委員会打ち合わせ
- 23日 会派代表者会 公開教育委員会
- 24日 議会運営委員会 居場所カレッジ
- 25日 介護保険ホットライン
- 26日 介護老人保健施設見学
- 28日 本会議
- 29日 花の谷クリニック見学
障害者権利条例勉強会
- 30日 なんでも相談
- 7月1日 放課後算数教室 見学

少子・高齢化特別委員会(委員長：陣内やすこ)として、「待機児童の解消に向けて」の提言をおこないました。

【提言内容】

- ①0, 1, 2歳待機児童緊急アクションプラン(3ヶ年)(仮称)の策定
- ②国や都の支援策の積極的活用
- ③幼保一元化の活用と八王子モデル施策の検討

参議院選挙をおえて

参議院選挙は、民主党の不調、という結果に終わりました。政権交代後、初めての選挙ということで、この10ヶ月にわたる民主党を中心とした政権に対する中間チェックといったものでした。

今回の選挙の争点はなんだったのか？ 消費税ではなかったはずです。

沖縄普天間基地問題？

わたしは、鳩山政権の崩壊は、沖縄問題を解決できなかったことにあったと思うのです。

しかしながら、この問題が争点にならなかった責任は、菅さん、ならびにメディアにあると思っています。

争点はなにか。小泉政権でがたがたになった、医療・介護をどうたてなおすか。この点だとおもっています。自民党小泉政権のもとでの、民営化推進、社会保障費削減、そして、10年間の公共事業垂れ流しにストップをかけることではないのか。もちろん、医療・介護の問題を論じるとき、財源の問題はさげられないと思うのですが、財源の問題以上に、イマの医療制度のどこを、また、介護保険制度のどこをどう、見直していくか、議論しなければなりません。

そして消費税問題を論じるには、まずその前に、なぜ税収が大きく落ち込んできているのか、リーマンショック以前に立ち返って、整理しなければなりません。

所得税の変遷

1974年～	18段階	最高税率	75%
1984年～	14段階		70%
1999年～	4段階		37%
2007年(注1)～	6段階		40%



これって、金持ち優遇で、庶民をいじめる税制です。これに逆進性(注2)のある消費税を上げれば、さらに所得格差は広がる一方なのではないでしょうか。

(注1) 定率減税は廃止になったけど、法人税引き下げ、相続税の引き下げはそのままです。

(注2) 所得の低い人ほど、負担が大きい。

第3回定例議会の日程

- 9月1日 定例議会召集告示日 一般質問通告締切
- 2日 請願締切
- 3日 議会運営委員会
- 8～13日 一般質問
- 14日 本会議
- 15日 総務企画・厚生委員会
- 16日 文教経済・都市環境委員会
- 17日 証拠閲覧
- 21日 会派代表者会議 証拠閲覧
- 22日 議会運営委員会 決算総括質問通告締め切り
- 27日 本会議
- 28日 本会議 決算特別委員会
- 30日 決算総括質疑
- 10月4日 総務企画・厚生分科会
- 5日 文教経済・都市環境分科会
- 13日 決算特別委員会
- 15日 本会議

傍聴に
おかけ
下さい

カフェ・ミーティング (議会報告会)



- 日時：8月1日(日)
南大沢文化会館第3研修室
9:30～11:30
- 日時：8月29日(日)
南大沢文化会館第4研修室
18:00～20:00

市政のアレコレ、地域での生活課題
について、おしゃべりしましょう